

記録アプリとシステムの連携で、転記の手間を軽減

申請事業者：特定非営利活動法人リノラ未来（都城市）
業 種：福祉業

従業員数：45名
設 立：2001年



音声入力データを記録アプリと請求システムに自動連携し、転記の手間を軽減！

取組の概要

導入部門：生活介護、短期入所、就労継続支援B型事業所

導入業務：支援記録業務

導入目的：支援記録の手書きと転記確認の時間の削減

導入技術：ほのぼのmore「支援記録システム」
記録アプリ「Care Pallet」

導入手法：支援記録を音声で記録アプリに入力し、その情報を請求システムにも連携することで、二重三重の転記の手間を軽減。

導入費用：¥2,478千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ①手書きで記録した内容を、ケース台帳と業務日誌に入力しており、非効率だった。
- ②請求システムに入力する前の情報が手書きとなっているため、転記ミスのチェックに時間を要していた。

●解決に向けた課題設定等

- ①記録アプリに音声入力を行うことで、迅速で正確な記録を実現。さらに、支援記録システムにより、自動で転記を行う。
- ②記録アプリと請求システムを連携させることで、チェックの手間を軽減。

取組の成果

・支援の記録にかかる時間を、50%削減

支援記録を手書きし、回送する時間 808時間/月 → 404時間/月

・転記にかかる時間を、50%削減

支援記録の内容を入力する時間 60時間/月 → 30時間/月

・情報共有にかかる時間を、50%削減

電話やFAXで情報を共有する時間 30時間/月 → 15時間/月